2016 年 2 月 16 日

ホンダ・レーシングとテクニカルスポンサー契約を締結

二輪車始動用バッテリーの開発を開始・ワークスマシンに、リチウムイオン電池搭載

エリーパワー株式会社 （本社：東京都品川区、代表取締役社長：吉田博一）は、この度、株式会社ホンダ・レーシング（以下 HRC）とテクニカルスポンサー契約を結び、2016 年モトクロス世界選手権 MXGP クラス（以下 MXGP）及び 2016 年全日本モトクロス選手権国際 IA-1 クラス（以下 JMX）に参戦するワークスマシン※に、始動用リチウムイオンバッテリーを提供します。

当社は大型リチウムイオン電池において高い安全性を実現し、長寿命、広い動作温度特性を強みに、これまで蓄エネ市場を牽引して参りました。その安全性と技術が、マシンを開発する株式会社本田技術研究所二輪 R&D センター（以下本田技術研究所）に認められ、昨年より始動用バッテリーの開発を共に進めてまいりました。

モトクロスは過酷な環境下で行われるモータースポーツとして、世界に広く普及しているオートバイ競技の一つであり、車両メーカー自らが MXGP、JMX に参戦し技術を競っています。当社はこれまでに培った技術を基に、過酷な環境下で競い合うモトクロスのため、安全性と耐久性を備え、軽量かつ始動性と温度特性に優れた始動用バッテリーを開発いたしました。

大型モーターサイクルの技術戦略を担当する、本田技術研究所上席研究員の後郷和彦氏からは、「二輪車の始動用バッテリーには、セルモーターを回すという機能以外に、軽く且つ高い耐振性、耐久性が要求されます。そのような課題を解決出来る電池が長い間望まれていました。エリーパワー社の優れた基本特性と安全性を合わせ持つリチウムイオン電池に期待し、最も過酷なレース、モトクロスでの実戦投入を決めました」とコメントを頂いています。

当社は、日本・欧州・北米の二輪車市場での需要を見込み、本バッテリーの本年中の製品化を目指しており、既に川崎工場では、二輪始動用バッテリー専用ラインの新設に着手しています。

※ワークスマシン　・・・　メーカーがレースに参戦するために独自に開発した車両

搭載マシン　CRF450R

始動用バッテリー　イメージ

【参考】 2016 年 Honda 国内モータスポーツ活動計画発表会

本電池は、第7 回国際二次電池展（会期：3 月 2 日（水）～4 日（金）、会場：東京ビッグサイト）に参考出展予定です

■ホンダ・レーシング（HRC）公式サイト
http://www.honda.co.jp/HRC/

■MXGP スポンサーサイト
http://mxgp.hondaracingcorporation.com/sponsors/

■JMX スポンサーサイト
http://www.honda.co.jp/HRC/jmx/sponsor/

エリーパワーは2006年の創業以来、安全性を最優先に技術開発及び製品開発を行ってまいりました。今後も世界のエネルギー問題、環境問題を解決するため、エネルギーを貯蔵して活用するシステムを普及させようという理念のもと、リチウムイオン電池及び蓄電システムの開発と普及に取り組んでまいります。

◆問合せ先
エリーパワー株式会社 広報部 TEL：03-6431-9043
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-6-4 新大崎勧業ビルディング 19 階 （大崎ニューシティ 4 号館）